

診療支援『疾患別検査ガイド』の取り組み

営業課 営業推進係

はじめに

広島市医師会だよりの年頭所感2017で松村会長は、「広島市医師会は、会員が安心して自信とプライドを持って、天職である医療に専念できるよう、環境整備をすることが最も重要な使命である」とおっしゃられています。臨床検査センターでは、「会員が安心して」検査を委託できるよう平成28年10月に『医療関連サービスマーク』を取得しました。品質保証体制の更なる充実をはかるため、検査センター一丸となってこれまでの業務内容をすべて見直しました。この取り組みにより、検査部門のみならず、検体の回収から検査報告書のお届けまで、全工程を品質管理できる体制を整備することができました。

また、「天職である医療に専念できるよう、環境整備をする」ために、診療支援、経営支援、職場支援の3つの会員支援を準備しています。今回は、3つの会員支援の中から診療支援にあたる疾患別検査ガイドの取り組みについてご紹介いたします。

1. 疾患別検査ガイド発刊の経緯

平成27年1月に、診療支援、経営支援、職場支援につながるより良いサービスを構築することを目的にアンケートを実施させていただきました(811施設より回答)。アンケートでは、これまでのサービス内容で有用であったことや今後の付加価値サービスで望むことについて、ご意見をいただきました。アンケート集計結果は、右表(3ページ)をご参照ください。

今後の付加価値が高いサービスのなかで、会員の先生方の関心が最も高かったのは、『専門分野以外の疾患に対するガイドライン』でした。専門分野以外の患者さんを専門病院に紹介する際、どのような検査をする必要があるか参考となるガイドを手元に置きたいと思われる先生方が多いようでした。日頃、検査に関するお問い合わせも多いことから、当検査センターとして、日常診療に役立つ疾患別検査ガイドを作成することとしました。

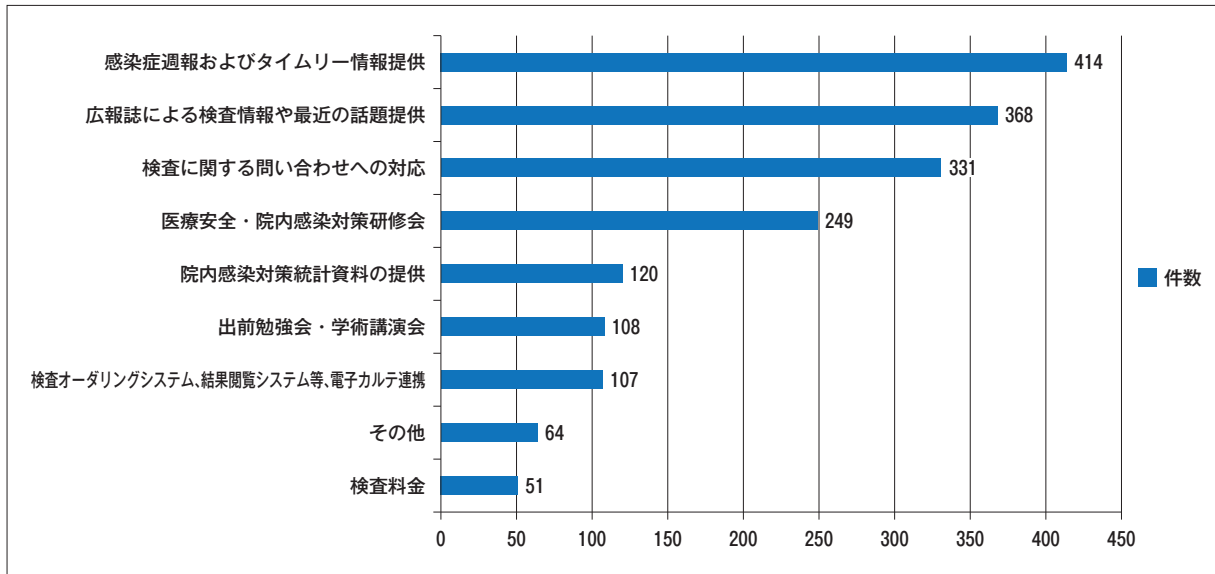
個別の意見としては、以下のとおりです。

- ◎数年前に、検査センター発行の疾患別プロフィール(ファイルとじでシリーズものでした)が大変役に立っています。そろそろ改訂されてはいかがでしょうか。
- ◎専門分野以外の検査ガイドラインだけでなく、治療ガイドラインも。(出来るだけ簡単な)
- ◎開業したらどのタイミングで専門医に紹介すればよいのか教えてほしい。
- ◎最低限、必要な検査を知っておきたい。

参考資料：アンケート集計結果

これまでのサービス内容に対する質問と回答

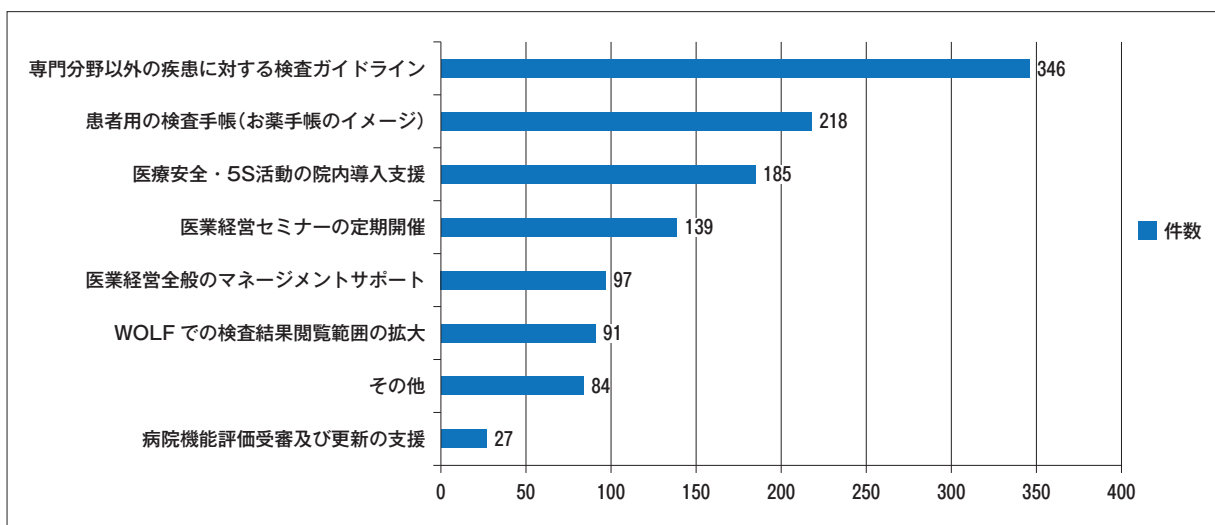
【質問】 当検査センターが提供しているサービス内容（出前勉強会や広報誌等）で、特に役に立っていることがありましたら具体的に教えてください。*複数回答可



平成29年3月

高付加価値サービスに対する質問と回答

【質問】 ご利用しやすい検査センターを目指して、付加価値の高いサービスの提供を検討しております。以下のような取り組みを検討する予定ですが、ご関心のある項目をお選びください。*複数回答可



2. 診療支援『疾患別検査ガイド作成』の取り組み

先生方にご協力いただいたアンケート結果より、日常診療のなかで重要な疾患をとりあげ、疾患ごとの検査ガイド「疾患別検査ガイド」を発刊しています。そのために、疾患別検査ガイド作成の小委員会を発足し、コンパクトでありながら十分な内容を持った疾患別検査ガイド作成の取り組みを開始いたしました。この疾患別検査ガイドの特徴として、最終ページには、診断フローとセット検査一覧表を掲載しています。小委員会では、日常診療のなかで、先生方が使いやすいものになるよう多くのアイデアを出していただきました。

疾患別検査ガイドの第一弾は、さまざまな診療科を受診する可能性の高い『甲状腺疾患』を取り上げ、日本甲状腺学会診断ガイドラインに準拠して作成いただきました。小委員会では、先生方が検査を出されるときに参考になることはもちろんですが、薬物の使用に際して副作用のチェックにもつながるように、ご検討いただきました。平成28年度は、甲状腺疾患のほかに、『貧血』、『CKD 慢性腎臓病』と3疾患の検査ガイドを作成していただき、会員の先生方に配布させていただきました。

(1) 疾患別検査ガイド作成のコンセプト

- ①各種学会ガイドラインに準じたものであること
- ②非専門分野の医師が診療行為に使う参考資料であること
- ③診察の合間にもすぐに参照できるボリュームであること

(2) 平成28年度に発刊した疾患別検査ガイド



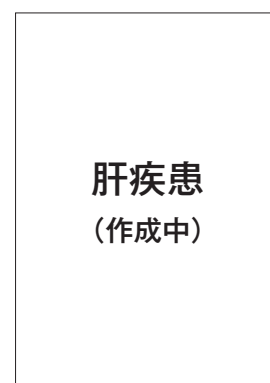
平成28年2月発刊
 運営委員長 大久保雅通先生
 内分泌専門医 野島秀樹先生
 運営委員 蔵本 憲先生
 担当常任理事 吉田明浩先生



平成28年6月発刊
 運営委員長 大久保雅通先生
 血液内科専門医 蔵本 憲先生
 運営委員 岡本太郎先生
 担当常任理事 吉田明浩先生



平成28年11月発刊
 運営委員長 大久保雅通先生
 腎臓・透析専門医 内藤隆之先生
 担当常任理事 谷本雅伯先生
 副担当常任理事 岡本太郎先生
 常任理事 吉田明浩先生



平成29年4月発刊予定
 運営委員長 大久保雅通先生
 肝臓専門医 兵庫秀幸先生
 担当常任理事 谷本雅伯先生
 副担当常任理事 岡本太郎先生

(3) 疾患別検査ガイドの展開例(甲状腺疾患)

①疾患別検査ガイドの発刊

【甲状腺機能検査と診断フロー】

【抗甲状腺薬治療中の検査スケジュール例】

	治療前	2・4・6・8・10週後*	12週後	4・5ヶ月後	6ヶ月後
FT4・FT3	○	○	○	○	○
TSH	○	○	○	○	○
TRAb	○	○	○	○	○
白血球数・白血球分類	○	○	○	○	○
ALT**	○	○	○	○	○

※1: ALT, ALPは90%未満を推奨する。
 ※2: TRAbの陽性/陰性は、「投与開始後2ヶ月間は原則として2週間隔に1回の高感度検査」と記載されています。
 (日本臨床検査医学会 臨床検査のガイドラインJLMA2012より抜粋)

2016年2月発行

平成28年2月発刊

見開きページには、甲状腺学会ガイドラインから日常診療に有用な情報を掲載しています。主な内容としては、

- ・パセドウ病診断のための推奨検査
- ・抗甲状腺剤の副作用のチェック
- ・慢性甲状腺炎（橋本病）の診断のための推奨検査
- ・潜在性甲状腺機能低下症のフォロー

左表(最終ページ)には、甲状腺機能検査と診断フロー、抗甲状腺薬治療中の検査スケジュール例を掲載しています。

②「甲状腺疾患2016」学術講演会の開催



深田先生の特別講演の様子

平成28年3月29日開催

疾患別検査ガイドの学術講演会の内容

- ・疾患別検査ガイドの解説
- ・特別講師による最新の話題提供
- ・ラウンドテーブルディスカッション

日常診療でお困りのことなど、事前にご質問をお送りいただき、当日のディスカッションのなかで、講師の先生方から回答いただきます。

③臨床検査センターだよりへ記事掲載

平成28年3月29日発行 広島市医師会だより (第604号 付録)

一般社団法人広島市医師会
臨床検査センターだより

7720-6611 広島市中区中野町3丁目4番4号
TEL: 082-247-7111 FAX: 082-244-0402 / フリーダイヤル: 0120-14-7111
http://www.hiroshima-medical.or.jp

甲状腺疾患2016学術講演会の様子 / 平成28年3月29日 広島医師会館2階大講堂(写真撮影: 野村)

目次

疾患別検査ガイド 甲状腺疾患2016学術講演会報告 一〇二
 編者: 大久保 雅浩 広島市医師会臨床検査センター運営委員会 委員長

「疾患別検査ガイド」甲状腺疾患2016 概要説明
 編者: 野村 裕司 広島市医師会臨床検査センター 副委員長

「地域と甲状腺疾患」
 編者: 野村 裕司 広島市医師会臨床検査センター 副委員長

○海外感応度検査 一〇三
 ○ご感想 Q&A 一〇四
 ○お詫言わすメール 一〇四

広島市医師会臨床検査センター理念
 広島市医師会委員の支援および地域医療の発展に貢献すること

平成28年8月15日発行

当日、参加できなかった先生やメディカルスタッフの皆さまには、「甲状腺疾患2016」学術講演会のダイジェスト版として掲載しています。

ラウンドテーブルディスカッションでの質疑応答の内容も Q&A 形式で掲載しています。実際にご質問いただいた内容(抜粋)は以下のとおりです。

- ・TRAbの第一世代と第三世代の比較
- ・甲状腺疾患治療中の患者が妊娠したときの注意事項は？
- ・検診における潜在性甲状腺機能低下症をスクリーニングする意味は？

3. 疾患別検査ガイド発刊後の会員からのご意見

(1) 医療機関への聞き取り

①対象期間：2016年12月1日(木)～12月29日(木)

②対象施設：104施設

(2) 聞き取りの結果

【質問】疾患別検査ガイドをご利用されていますか。

①役に立っている 72施設 (69.2%)

②あまり役に立っていない 10施設 (9.6%)

③利用していない 22施設 (21.2%)

《ご意見》

「役に立っている」と回答いただいた先生からのご意見（抜粋）

- ・検査の進め方を参考にしています。
- ・カラーでとてもわかりやすくいいと思います。
- ・手元に置いて見返す場合がある。
- ・1枚見開きで見えるのでいいと言われる。
- ・学術講演会があつて理解が深まった。今後もお願いします。
- ・必ず一度は読んでいます。疾患と検査のことが頭の中にはいるので日常診療に役立つ。
- ・診療の合間に見ている。よくまとめてあり役だっている。
- ・検査ガイドは専門外の先生方が見て役に立つガイドでとてもよいと思う。
- ・分かりやすい。フローチャートがよい。

「あまり役に立っていない」と回答いただいたご意見のなかには、見開きページの字が多くパッとみて分かりづらいとのご指摘がありました。今後の疾患別検査ガイド作成にむけて、日常診療に有用な情報をこれまで以上に、コンパクトに掲載する工夫をしていきたいと思っています。

おわりに

疾患別検査ガイド発刊後、医療機関を訪問した際、先生方から実際の患者さんのことをご質問をいただくようになりました。ご質問は一旦持ち帰り、各検査ガイドを作成された専門医の先生にご指導いただき、その内容を回答させていただいております。当検査センターは、疾患別検査ガイドを通じて、会員の先生方と専門医の先生との架け橋になればと考えております。

また、付加価値の高いサービスの第二位『検査データ手帳』は平成28年10月に配布を開始しています。第三位の『医療安全5S活動の院内導入支援』も当検査センターの5S活動見学コースを準備しています。ぜひ、新たなサービスをご利用ください。当検査センターは、『常に会員とともに歩む検査センター』としてこれからも会員支援の充実に取り組んでまいります。